

むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長
編集・発行／広報特別委員会

明日へのあゆみ



平成29年よりプール機能を廃止し、冬季（11～3月）のスケートリンク専用施設として改修された中島スポーツセンターは、現在「新和産業アイスアリーナ室蘭」という名称で、今シーズンも子どもから大人までたくさんの人たちが利用しています。また、市内全小学校を対象に体育授業の一環でスケートの授業も行われ、日本製鉄室蘭アイスホッケー部の室蘭スティーラーズの選手に指導を受けながら、なかなか上手に滑れない子どもたちもひとつずつ教えてもらい、滑りが上達する姿が見られました。子どもたちが学校外で、社会人と交流しながらスケートを楽しむ貴重な機会となっています。これからも、子どもたちのたくさんの未来へつながりますように。

令和5年第4回室蘭市議会定例会日程

- 11月30日 本会議（開会、会期の決定、議案説明、議案の議決）
- 12月5日 本会議（質疑・一般質問）
- 12月6日 本会議（質疑・一般質問）
- 12月7日 本会議（質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか）
- 12月8日 常任委員会（総務）
- 12月11日 常任委員会（民生）
- 12月12日 常任委員会（経済建設）
- 12月13日 特別委員会（予算審査）
- 12月14日 委員会（議会運営）
- 12月15日 委員会（議会運営）
- 本会議（追加議案の説明、各種議案の議決ほか、閉会）

第4回定例会開催

令和5年第4回室蘭市議会定例会が、日程のとおり、16日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として補正予算5件、条例改正などを含む議案18件、議員提出議案として議案1件、意見書案4件、決議案1件について審議・議決しました。

市民と議会との懇談会

【市民と議会との懇談会とは】

- 平成24年度から実施
- 市議会議員自らが地域に
出向く

- 市民から幅広く意見を聴く
- 市民意見を反映した政策
提言を図る

これらを目的に、総務常任委員会、民生常任委員会、経済建設常任委員会がそれぞれ所管する事項からテーマを決定し、市内の関係団体を対象に開催するものです。

令和5年10月および11月に実施した当該懇談会について報告します。

総務常任委員会

高橋委員長、南川副委員長、小澤、小林、長岡、渡辺、砂田各委員

懇談対象団体

室蘭市内小中学校教員

テーマ：特別支援教育の状況について

開催日：令和5年11月1日

会場：議会第1会議室

初めに、小学校教員の皆さんからは、こどもの実態はさまざまで、定数は少人数だが、一人で複数のこどもたちを受け持つ状況もあり苦労している。少子化でこどもの数は減少しているが、平成19年4月から特別支援教育の推進が始まり、それ以降、特別支援学級の在籍児童数は増加傾向にある。保護者のニーズに応えながら柔軟に対応しているなどの話がありました。

次に、中学校教員の皆さんからは、高校卒業後の『就労』を念頭に置き、日々支援している。中学校卒業後の進路を考えて教育課程を編成し、丁寧に対応しているなどの話がありました。

また、児童・生徒の多様性に合わせた対応が求められ、支援員の力を借りて支援しているが、教員の空き時間がほばないことが課題であるとのことでした。

そのほか、学級での様子の記録化を徹底し、支援員と確認している。中学校卒業後の姿がイメージしづらい生徒には、早い時期からの学校見学などにより、イメージを持つよう指導している。集団への適応が難しい生徒が増えてくる。就学前に医療機関の専門医に診てもらおう環境があるといいのではないかなど、意見や要望がありました。



総務常任委員会の懇談会風景

委員からは、教室などの環境整備、教員の研修受講状況、放課後等デイサービスとの連携状況、デジタル教科書が有効に活用されているか、少しでも教員の負担軽減につながる対策としてどのようなものが考えられるかなどの質問が出されました。

ほかにもさまざまな意見交換が行われ、大変貴重で有意義な懇談会となりました。

民生常任委員会

児玉委員長、常磐井副委員長、滝口、羽立(秀)、日沼、西岡各委員

懇談対象団体

子ども食堂等開設団体

テーマ：子ども食堂の現状と課題について

開催日：令和5年10月31日

会場：議会第1会議室

初めに、各団体から子ども食堂の開設に至った経緯として、こどもたちの居場所づくりや貧困化対策として開設などのほか、貧困世帯だけを対象とせず、多世代交流や地域課題の解決を目的として開設したなどの話がありました。

次に、子ども食堂の運営に関わる共通の課題として、資金・人材・場所などの確保、会場費負担や食品衛生管理の問題などが挙げられました。

また、市の補助金については、使途に制約があり、使いづらいつの意見も出されました。コロナ禍以降の状況については、物価高騰の中での運営に苦慮している、子ども食堂

の利用者は子どもだけでなく、ひとり暮らしの高齢者の利用も増えており、幅広い世帯で家計が悪化しているのではないかとの意見もありました。

子ども食堂の運営継続については、人材の確保に苦慮しており、地域の掲示板にボランティア募集に関するポスターの掲示や民生委員にも協力を要請している。看護学生や高校生、工大生などのボランティアで運営しているが、継続性に難があるため、人材確保のためのネットワークが必要との意見が出されました。

委員からは、国で行っている政府備蓄米無償交付の活用状況、安定運営に必要な補助金などへの考え、持続的な後継者づくりの課題に対する改善策、地域・世代間交流などのエピソードの共有、コロナ禍以降の物価高騰が運営に与える影響、課題を抱えることへの対応状況、子ども食堂開設団体間の連携などについて質問が出され、意見交換が行われました。

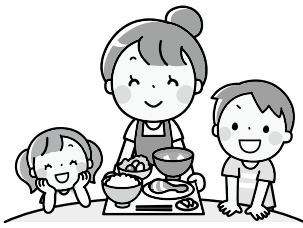
懇談会では、ほかにも多く

の意見や要望があり、子ども食堂を運営する各団体の現状

や課題を知ることができ、大変有意義な懇談となりました。



民生常任委員会の懇談会風景



経済建設常任委員会

我妻委員長、柏木副委員長、伊藤、羽立(典)、早坂、水江各委員

懇談対象団体

株式会社 室蘭魚市場

室蘭市水産物卸売協同組合

テーマ：室蘭市公設地方卸売

市場の活性化について

開催日：令和5年11月2日

会場：株式会社 室蘭魚市場

第2会議室

初めに、株式会社室蘭魚市場からは、天候などの状況や海洋環境、温暖化などに左右され、簡単に漁獲量は増えないので取扱量の増加は難しいこと、骨が多いカレイ類などの加工に向かない魚には付加価値をつけ魚価単価を上げていくこと、地域で地場産品を食べていく文化をつくること、冷凍品や加工品の販売先を増やすこと、漁業関係者を増やす取り組みとして高卒者の地元就職に対するPR活動など人手不足解消の支援を求める意見などがありました。

次に、室蘭市水産物卸売協同組合からは、トラック業界

の2024年問題に対し、自前での冷凍・保存を重視しているが冷凍庫の容量不足という課題があること、燃料高騰により他地域へ運搬する場合に採算がとれないなどの意見がありました。

ほかにも、急速冷凍設備があれば魚を冷凍保管でき、そこから魚価単価増につなげていくことも可能であり、適正な価格で販売できるとの意見がありました。

委員からは、市場取扱量・取扱高増に向け、一次加工・二次加工施設の市内設置への課題、冷蔵庫の容量に関する問題、人手不足解消のための外国人雇用における課題、地産地消に向けた取り組み、急速冷凍施設整備に対する補助制度の有無などについて質問が出され、意見交換が行われました。

ほかに多くの意見が交わされ、室蘭市公設地方卸売市場の活性化に向け貴重な意見交換の場となり、大変有意義な懇談会となりました。



経済建設常任委員会の懇談会風景



質疑・一般質問

議員12人の質疑・一般質問
および答弁から37項目を取り上げ、要旨を紹介しします。



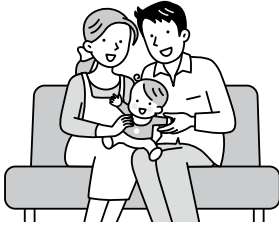
小林 由美
無所属



産後の支援について

【問】 他市のような産後ケア事業の実施検討や実施する上で、本市での課題は。

【答】 来年度設置検討していることも家庭センターでの各種支援事業の精査を進め、検討していく。対応可能な専門家が限られることが課題。



不登校について

【問】 スクールカウンセラー

や心の相談員の支援を受けていない児童・生徒の不登校支援の現状と課題は。

【答】 学習用端末を活用した学習支援や別室登校での学びの場の確保に努めている。医療機関や福祉関係課と連携した包括的なアウトリーチ支援（※1）の充実が喫緊の課題。

学校の防災対策について

【問】 日中、津波避難指示を受けた際、孤立してしまう可能性のある小中学校の備蓄を含めた防災対策をする必要性があると考えるが見解は。

【答】 こどもたちの安全を守るための総合的な対策について、防災対策課など関係部署と連携していく。

5歳児相談の情報関係機関と共有する考えについて

【問】 5歳児相談時に行う「子どもの強さと困難さアンケート」の情報を保護者同意

のもと就学後に関係機関と共有し該当児童を理解すること
が学校生活への早期適応、不登校未然防止につながると考えるが見解は。

【答】 必要に応じて5歳児相談アンケートの内容を含め、情報共有を促進していく。



南川 達彦
市政結和



企画情報事業の発信について

【問】 参加者を募るイベント企画の場合には、公募について広く周知を図るべきでは。

【答】 市ホームページのほか、報道機関やSNSなどの媒体を活用し、より効果的な周知に努める。

時代に合った働き方について

【問】 専門的な行政課題に対してプロフェッショナル人材を採用する考えは。

【答】 プロフェッショナル型採用や任期付き職員採用など効果的な採用方法を検討する。
【問】 行政課題や新事業への

チャレンジのため、地域おこし協力隊を活用する考えは。

【答】 行政・地域課題を解決する上での必要性や効果が認められる場合には分野を問わず活用する。

市場跡地の活用について

【問】 イオン新室蘭店の着工遅れにより生じる恐れがある資金不足対応として、市場跡地をほかの利用へ促し収入増を検討すべきでは。

【答】 賃貸借契約の方法の再調整と併せて、用地貸付先の優先交渉権者であるイオン北海道と可能性を検討する。

町内会への加入促進について

【問】 防災の日を町内会加入促進日とする策や町内会加入者への施設割引の提供、ごみステーション改修補助などをする考えは。

【答】 市民にとって関心の高い防災などの取り組みとの連携も検討し、啓発の充実に努める。町内会をはじめ関係者の意見を踏まえメリット提供を検討する。

らんらんPayについて

【問】 利用者、販売事業者ともに分かりにくく不評の声が聞こえるがどのように分析、判断をしているのか伺う。

【答】 利用者からの声を受け、配布している店舗一覧の表示方法を見直し、インターネットでは地図上で調べることができるようにしている。

だんばらスキー場について

【問】 今後の方向性として令和9年3月に廃止で間違いなにか伺う。

また、廃止後予定しているスノーパークの事業内容について伺う。

【答】 現在の指定管理期間である令和9年3月に廃止予定スノーパーク構想は小さなこどもたちが安心して雪遊びができるような場所の提供をイメージしている。まずは、ニーズや課題の把握と事業内容について検討を進めていく。



羽立 典弘
無所属



津波防災について

津波発生など緊急時に避難経路としてJR線路の横断が必要と考えるが、JRとの交渉は進んでいるのか伺う。

国に対し、本市をはじめとする胆振管内11市町の共同要望として、災害時における鉄道線路横断などに関する要望書を提出し、「災害時などにおいては、線路内への立ち入りを禁止する当該法令には該当しないものと解釈される」と回答があった。今後、JRから協議に応じるとの回答があり、引き続き交渉を続けていく。

に持続可能な収集体制の構築に向けた集約の進め方について検討を行っている。

モデルとした町のごみステーション集約の試算を行った結果に対する評価は。

収集事業者から要望の大きい軒先収集を解消することで、収集時間や走行距離の短縮に一定の効果があると思われる。

窓口等での市民サービス向上について

キャッシュレス決済の科目を増やしていく考えは。

今後の検討課題と認識しているが、職員や指定管理者の事務負担の増加が見込まれるため、その影響も踏まえ、考えを整理していく。

公共施設等への冷房設置について

小中学校を最優先に、補助金などを活用しながら簡易的な整備手法で早急に冷房設置すべきと思うが、見解は。

簡易的な手法は、効果の検証が必要。こどもたちの快適な学習環境を確保するため、さまざまな整備手法を検討していく。

討していく。



にしおか たけひろ
西岡 忠広
公明党室蘭市議会

人口減少対策について

医療・介護やバス・タクシーなど人材不足が顕著な業界の移住支援策を行う考えは。

市民生活に密接に関わる業種での人材不足は大きな課題。どのような支援が効果的であるか、今後事業者などと協議をしながら検討を進める必要があると考える。移住者の活用は可能性のある手段のひとつとして検討していく。

市民の運動施設について

今後の公園整備の中で、インクルーシブ遊具を設置する考えは。

すべての人が利用できるインクルーシブ遊具は重要と考えている。まずは令和6年度から予定している中島地区の公園機能再編の中で設置を考えている。

令和5年10月末で廃止

となった高砂テニスコートの跡地利用の考えは。

テニスコート9面の内、6面は近隣の海星学院高等学校が部活動で使用したいとの要望がある。管理運用方法などは現在協議中。残り3面は町内会など地域の方々の声を聞き、運用方法について検討中。

災害対策について

大規模災害発生時ににおける災害廃棄物仮置き場候補地についての考え方は。

仮置き場については市内を5地区に分け、各地区に1カ所ずつ候補地を選定しているが、マニュアル作成時から利用形態など状況が変化している。今後協議を行う予定。



わたなべ みきや
渡辺 房代
日本共産党室蘭市議会

白鳥台団地について

白鳥台を通るバスが減便され、住民が困っている。

減便は運転手不足による

るやむを得ないものだが、市内路線バスのあり方について、バス事業者と協議していく。

白鳥台の将来像は。

白鳥台地区の一部は立地適正化計画で居住誘導区域に設定されている。今後も居住誘導を進めていく。

小中学校の教育について

知的障がい学級に支援員を配置するべきでは。

支援員の業務は、児童・生徒の安全確保が最優先と考える。個々の児童・生徒の実態に合わせて検討していく。

小中学校の全普通教室に冷房設備を設置するべきでは。

財源確保の課題などがあるため、夏休みの延長、暑さ指数の高い日の臨時休校などで対応していきたい。

物価が高騰している。全員の給食の無償化を。

第3子の無償化により、子育て世帯を支援していくとともに、国の給食費に関する検討状況を注視していく。

带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹は、ワクチン接種での予防が大事。市民負

担軽減のため接種費用を補助するべきではないか。

〔答〕 国が定期接種化に向けた検討を進めている。今後の動向を注視していく。



令和6年度予算編成方針について

〔問〕 現時点での今任期の市長公約取組状況と来年度予算に新たに盛り込む施策は。

〔答〕 学校給食費の第3子無償化や英語検定料への支援、スクール児童館の利用料無償化など公約に掲げた33項目のうち現時点で25項目に着手済みで、来年度予算には0〜2歳児の保育料軽減や子ども医療助成の拡充などを検討中。

室蘭市地域公共交通網形成

計画について

〔問〕 相次ぐタクシー事業者の営業休止や廃止により公共交通網形成計画や室蘭MaaSプロジェクトへの影響は。

〔答〕 担い手となる交通事業

者の減少により新たな交通サービス事業の実施が困難になるなどの影響がある。

〔問〕 今後の施策展開とタクシーなどの実稼働台数増加に向けた支援は。

〔答〕 運転手不足の解消に資する施策の検討が最優先。

タクシーの実稼働台数の増加に向けては、市内自動車教習所が普通2種免許教習が可能となる指定申請に動いている。本市もモニター募集の支援などを実施している。

商業活性化について

〔問〕 たいわ団地跡にスーパーやドラッグストアなど、近隣住民のための商業施設を誘致しては。

〔答〕 当該地区は、東室蘭駅周辺地区まちづくり将来ビジョンにおいて多世代の居住環境形成エリアと位置付け、住宅用地や商業施設用地などに活用を検討中。



働き世代の生活習慣病予防 施策について

〔問〕 直近の75歳未満のがん死亡率と、がん検診受診率は。

〔答〕 75歳未満のがん死亡率は、平成27年度時点で増加傾向だったが、男性は令和3年度で若干減少。がん検診受診率は、令和2年度から低下。

〔問〕 若い世代へ向けた啓発としてSNSや動画を活用する考えは。

〔答〕 ICT活用を含め、どのような対応が可能か検討する。

ロコモティブシンドローム(※2) 対策について

〔問〕 本市の要介護認定者数と、そのうち運動器疾患患者の有病数は。

〔答〕 令和5年6月末で5千676人。そのうち、運動器疾患患者は令和4年度で2千771人で約半数を占めている。

〔問〕 要介護者の約半数は運動器疾患患者で、ロコモティ

ブシンドロームの重要度は高いと思うが、ロコモティブシンドロームチェックを介護予防事業内で実施する考えは。

〔答〕 ロコモティブシンドロームチェックは有効と考えるが、参加者は後期高齢者も多く、安全に実施する環境整備や結果を生活改善に結びつける指導体制の検討が必要。

認知症施策について

〔問〕 本市の認知症初期集中支援チームの実績と課題は。

〔答〕 令和4年度は、延51回の訪問支援を行い、最終した16件中13件は医療や介護サービスに結びついている。本人の拒否が強い場合は早期の対応が困難な点が課題。



人材不足の対策について

〔問〕 現在行っている介護人材確保対策および第9期室蘭市高齢者保健福祉・介護保険事業計画の中で検討されている

る支援策について問う。

〔答〕 現在、人材確保のための研修やPR事業に対して補助を行う介護人材確保支援事業がある。第9期計画の中では、事業所に対し人材確保に係る費用への一部助成や介護職員の資格取得・保持、福利厚生などに係る費用の助成を検討している。

防災・減災対策について

〔問〕 寿橋について、車いすなどに配慮した改築要望になっているのか。

また、新規の跨線橋設置計画について伺う。

〔答〕 津波災害時にスムーズに避難するためには、道路のバリアフリー化やロードヒーティングなどの機能は不可欠と考える。橋梁改築時の防災機能付加について、北海道に要望している。新規の跨線橋設置計画はないが、線路横断による避難に関して、国からは、鉄道営業法においては災害時の線路横断に法的な制限がないことが示され、鉄道事業者からは協議に応じる旨回答があった。

今後、線路横断による避難

の実現に向け関係者と協議を行っていく。



こいずみ ともみち
児玉 智明
市民ネット・むろらん



地域医療体制について

〔問〕 来年度から実施される医師の働き方改革について、市立室蘭総合病院の現状は。

〔答〕 一部診療科において時間外勤務が多い状況になってきている。今後も患者対応などにより変動することが考えられる。

〔問〕 室蘭市地域医療連携・再編等推進協議会の最終着地点を見出す時期は。

〔答〕 これ以上先延ばしにできない重要な事案と認識している。スピード感を持って鋭意取り組んでいく。



ちよい乗り白鳥台について

〔問〕 今後の方向性と実施に

向けた考えについて。

〔答〕 持続可能な公共交通網の構築を目指すため幹線交通の維持とともに支線交通の確保も重要と認識しているため白鳥台地区を含め実施に向け検討を行っていく。

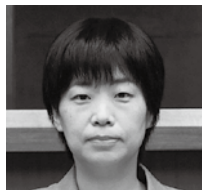
〔問〕 地域住民の移動手段確保のためコミュニティバスの導入を検討しては。

〔答〕 生活の足の確保というコミュニティ交通の基本は変わらないため、白鳥台を含め必要な担い手の確保など交通体系の観点も踏まえ安心・安全なまちづくりについて、これから検討を進めていく。

室カス文化センターと市民会館について

〔問〕 室蘭文化連盟が実施した署名活動の申し入れ内容と市の受け止めは。

〔答〕 令和16年までの大ホール廃止の延期と市民会館の改修反対を求めるものであるが、本市の考え方を説明し、理解いただくとともに、意見や要望を伺いながら、協議・検討を重ねていく。



みぞぐち ひろのり
溝口 紘子
市民ネット・むろらん



いじめへの対応について

〔問〕 スクールカウンセラーの時間を増やすため、市費による上乗せを検討すべき。

〔答〕 検討する。

〔問〕 いじめの初期対応や組織対応を適切に行うためにもスクールロイヤーが必要では。

〔答〕 有用性は認識しているが、学校が教育委員会、顧問弁護士などに相談できる体制構築に向け連携し、問題認識について情報共有を徹底する。

海の豊かさを守る取り組みについて

〔問〕 市長公約「水産振興」の課題はどういった想定か。

〔答〕 本市には多種多様な魚介類の水揚げがあるにも関わらず、市民や観光客にあまり知られていないとの声がある。情報発信強化など一層の認知度向上に取り組む。

〔問〕 ポストクローンイ養殖事業についての検討は。

高砂ベンセン問題について

〔答〕 昆布など海藻類の養殖ができないか検討している。

〔問〕 第3の室蘭名物としてホタテチリバーガーなど海産物メニューを推し進めるべき。

〔答〕 民間の自主的な活動のPRなどに連携して取り組む。

子ども食堂への支援について

〔問〕 来年度以降の支援の見解は。

〔答〕 定期的に訪問するなど、各子ども食堂の状況を把握し、必要な支援を行う。



とくみね しげのり
常磐井 茂樹
日本共産党室蘭市議団



国の経済・物価高対策について

〔問〕 暮らしと経済の危機といえる状況下にふさわしい経

済対策が取られているかどう。
〔答〕 国の経済対策は低所得世帯への給付金などのほか、地域に合わせた生活者・事業者へ経済対策を行うため、重点交付金が追加され、本市も市民、事業者への支援に努める。

〔問〕 支援給付金の年内支給の見通しを伺う。
〔答〕 非課税世帯のうち課税世帯の被扶養者のみからなる世帯が対象外となるなど一部変更があり、給付のシステム改修に一定の時間を要するが、可能な限り迅速な給付に努める。

〔問〕 日本共産党室蘭市議団の申し入れ事項を実施する考えについて問う。
〔答〕 申し入れについては、現下の情勢を踏まえた要望として受け止めている。

介護制度の現状と課題について

〔問〕 介護事業所の経営状況について問う。

〔答〕 事業所調査に回答した事業者の約33パーセントが経営が難しく、労働環境の改善ができないと回答。経営が厳しい事業所が一定数あると認識している。

令和5年第4回定例会議決結果 会期：令和5年11月30日(木)～12月15日(金) (16日間)

番 号	件 名	議決結果
議案第1号	令和5年度室蘭市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第2号	令和5年度室蘭市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第3号	令和5年度室蘭市水道事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第4号	令和5年度室蘭市病院事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第5号	室蘭市職員の給与に関する条例中一部改正の件	〃
議案第6号	室蘭市特別職の職員の給与に関する条例中一部改正の件	〃
議案第7号	室蘭市廃棄物の減量・リサイクル及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例中一部改正の件	〃
議案第8号	室蘭市国民健康保険条例中一部改正の件	〃
議案第9号	室蘭市子ども医療費助成条例中一部改正の件	〃
議案第10号	室蘭市印鑑の登録及び証明に関する条例中一部改正の件	〃
議案第11号	室蘭市手数料条例中一部改正の件	〃
議案第12号	室蘭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中一部改正の件	〃
議案第13号	室蘭市火災予防条例中一部改正の件	〃
議案第14号	室蘭市道路占用料条例等の一部改正の件	〃
議案第15号	室蘭市空家等対策協議会条例中一部改正の件	〃
議案第16号	室蘭市営住宅条例中一部改正の件	〃
議案第17号	室蘭市港湾施設管理条例中一部改正の件	〃
議案第18号	公の施設に係る指定管理者の指定の件(室蘭市B&G海洋センター)	〃
議案第19号	公の施設に係る指定管理者の指定の件(入江運動公園テニスコート)	〃
議案第20号	公の施設に係る指定管理者の指定の件(室蘭市墓地墓園)	〃
議案第21号	公の施設に係る指定管理者の指定の件(室蘭市障害者福祉総合センター)	〃
議案第22号	市道路線認定の件	〃
議案第23号	室蘭市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例中一部改正の件	〃
議案第24号	令和5年度室蘭市一般会計補正予算(第6号)	〃
意見書第1号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	〃
意見書第2号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	〃
意見書第3号	刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書	〃
意見書第4号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	否 決
決議案第1号	パレスチナとイスラエルの市民を狙った全ての暴力行為を非難し、即時に人道的休戦を求める決議	原案可決



〔問〕 介護事業所の人材確保と待遇改善について問う。
 〔答〕 人材確保や離職防止のため、質の向上や定着に向けた研修などに必要な経費の助成事業を実施し、2月から月額6千円の賃上げを実施するとしている。今後の国の動向を注視していく。

〔用語解説〕

- ※1 アウトリーチ支援
 : 自発的に援助を求めない人に対し、行政や医療機関、福祉支援機関などが積極的に働きかけ、訪問などの手段で支援を行うこと。
- ※2 ロコモティブシンドローム:
 (運動器症候群) 加齢や体の機能の障害などにより、立ち歩いたり歩いたりするための移動能力が低下した状態。

市議会ホームページをぜひご覧ください!

室蘭市ホームページ ⇒ 「市議会のホームページ」
 「議会中継」

※本会議および委員会が生中継または録画配信でご覧いただけます。
 スマートフォン、タブレット端末からも閲覧できますので右の二次元コードからアクセスしてください。



令和6年第1回室蘭市議会定例会 会期(予定)
 2月26日(月)～3月25日(月)

※会期の決定および日程の詳細につきましては、2月21日(水)開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ〔議会日程〕に掲載いたします。

編集後記

令和5年第4回定例会では、12名の議員から質疑・一般質問が行われ、公共交通の問題、大型商業施設の問題、物価高騰に対する施策など、市民生活に関する多岐にわたる問題が取り上げられ、各委員会でも活発な議論が交わされました。

最終日の本会議では、追加された補正予算について2名の議員から質疑がありました。

議会だよりでは、今後も議会で議論されたことを市民のみなさんにお届けしていきたいと考えておりますので、ご期待ください。
 (渡辺)